

川上ダム通信

2014
9
月号



Vol. 108

Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>



川上ダム「継続」 ～ダム検証 国土交通省対応方針決定～

読者の皆様にはいつも川上ダム事業に対しご理解
とご協力を賜りましてありがとうございます。

8月25日、国土交通省から「川上ダムは継続する」
との対応方針が出されました。いわゆる「ダム検証」
が終了し、川上ダムを建設することが改めて確認され
ました。

振り返りますと、川上ダム事業は、平成21年10
月、前原国土交通大臣（当時）が表明したダム事業に
関するコメントに従い、新たな段階に入らないことと
なって以来、足かけ6年の歳月をかけてダム検証を行
ってまいりました。それがようやく結論に達したので
す。この間、地元の方々からは「ダムはどうなるのか」

「早く結論を出すべき」などのお話を数多く頂戴致しました。永らくご心配とご迷惑をおかけしたことを
ここにお詫び申し上げます。（経過の詳細は次ページ記事「ダム検証の経緯」参照。）

そのような中、伊賀市では、平成25年2～3月に開催された「川上ダムに関する検証・検討委員会」
の場においてダムに関するさまざまな議論が展開される一方、同年9月の市議会では「川上ダム建設事業
の推進に関する意見書」が採択されるとともに、同年12月には、岡本市長から「従来どおりの参画量で
川上ダム建設事業への利水参画継続」との方針が示されたところです。

川上ダム建設所では、今回の国の対応方針決定を踏まえ、これまでに地元をはじめ関係する皆様から頂
いた様々なご意見を重く受け止め、1日も早いダム本体着工に向けて努力する所存です。まずは、現在も
行っている付替県道青山美杉線工事をさらに進めるとともに、本体着工や環境保全対策の実施に向けた諸
手続き等を開始することとしています。これらの状況は、この川上ダム通信やHP等により適宜お知らせ
していきます。

今後とも川上ダム建設所職員一丸となって事業の進捗に尽力してまいりますので、皆様方には引き続き
温かいご支援を賜りますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

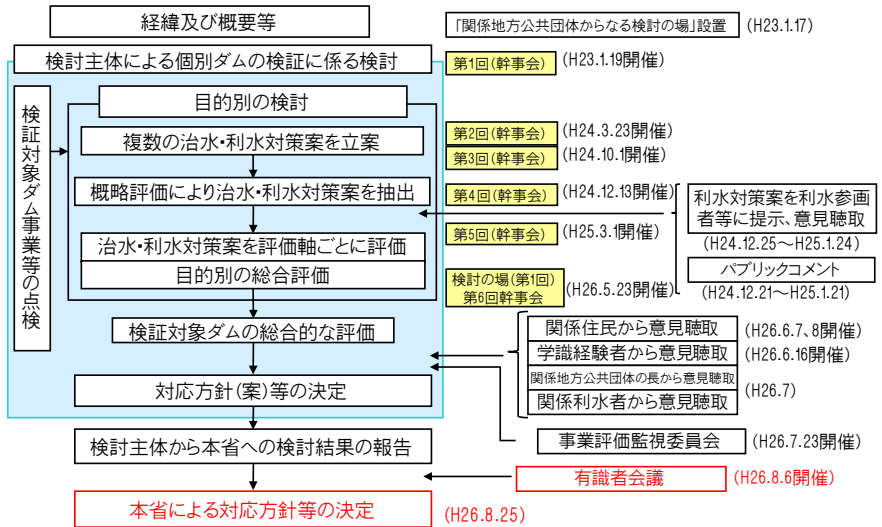


ダム建設予定地(平成24年2月撮影)

【所長 神矢弘】

ダム検証の経緯

平成23年1月、検討主体である近畿地方整備局及び水資源機構は、「川上ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」を設置し、ダム検証の検討手順に従って、川上ダムの検証に係る検討を予断なく進め、昨年3月までに幹事会を5回開催しました。この間、川上ダムの目的別に「複数の対策案立案」、「概略評価による対策案抽出」を行うとともに、工期などの点検も実施しました。また、利水参画者等への意見聴取やパブリックコメントも行いました。



ダム検証の流れ（赤枠内が今年8月の動き）

今年5月23日に開催された第1回検討の場・第6回幹事会の合同会議では、各対策案の評価や検証対象ダムの総合評価の結果から、「最も有利な案は『川上ダム案』である」との評価が示されました。

この評価について、7月23日に開催された近畿地方整備局事業評価監視委員会で審議された結果、「事業継続でよい」との判断がなされました。

これを踏まえて、7月25日に近畿地方整備局及び水資源機構は「川上ダム建設事業については『継続』することが妥当である」との対応方針（案）を国土交通省本省に提出しました。

これを受けて、8月6日（水）に本省において、「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」が開催され、その審議結果を踏まえて、8月25日に国土交通省において「川上ダムは継続する」との対応方針が決定されたものです。

【調査設計課 高野浩一】

今、こんな工事を行っています！

当建設所で行っている付替道路工事のうち、現在猫また大橋付近で実施中の法面对策工事を紹介します。

この工事では、削った山の表面（斜面）を保護し、安定した状態を保つため、「法柵^{のりわく}」（格子状のコンクリート）と7月号で紹介した「グラウンドアンカー」を施工しています。



現場状況（5月）

現場状況（8月）



斜面に張り付き
法柵を施工する作業員



グラウンドアンカー挿入の
ための削孔状況

着手時の平成26年3月には何も無かった斜面に、現在では上から半分くらいの高さまで「法柵」が姿を現し、完成に向けて工事も着々と進捗しています。今後、下半分が完成すると工事は完成です。

安全な道路の完成に向けて、引き続き工事を進めてまいります。

【工事課 飯島芳則】

第30回桐ヶ丘夏まつり開催

8月2日（土）に伊賀市桐ヶ丘地区で「桐ヶ丘夏まつり」が開催されました。

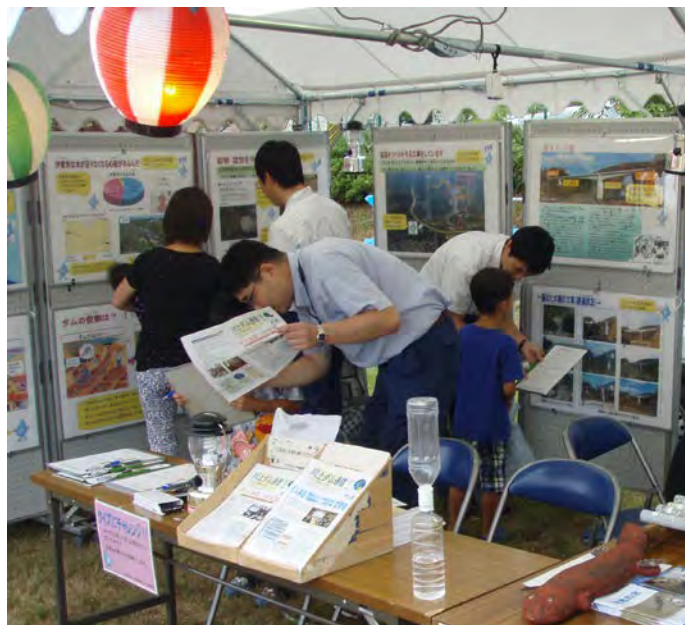
当日は台風12号の影響による降雨が心配されましたが、午後には小雨がぱらつく程度となり、無事まつりが開催され、多くの方が来場されました。30回の歴史の中で1度も雨天中止がないとのこと驚きです。

会場には、定番の焼きそばや飲み物などの夜店のほか、落書きコーナーやうちわの絵付けなどいろいろなブースが出展されていました。

当建設所からは、楽しく川上ダムのことを学べるブースを出展し、川上ダムの役割などを説明したパネル展示やそれらのパネルを使ったクイズを実施しました。ブースには大人から子供まで幅広く多くの方に来ていただきました。

参加者からは、ダムの早期完成を求める声などがあつたほか、「オオサンショウウオが生息していることを初めて知った」との感想もあり、多くの方に川上ダムについての知識を深めていただいたと感じました。

【工務課 関根隆好】



ダムのことを熱心に勉強！

台風11号～三重県全域に大雨特別警報発表～

8月10日（日）6時過ぎに高知県安芸市付近に上陸した台風11号は、気象庁から、東海地方初となる大雨特別警報が三重県全域に発表されるほどの大雨をもたらしました。

伊賀地域では、台風上陸前日の9日朝から、強い南風により海上の暖かく湿った空気が大量に運び込まれて豪雨となり、台風の影響が無くなる翌10日の昼過ぎまで断続的に降り続けました。伊賀市内では、昨年の台風18号に比べると被害は小さいものの、床下浸水等の被害がありました。

当建設所ではこの2日間、防災態勢に入り、職員が事業用地内の巡視を行う等警戒にあたりました。

前深瀬川上流の高尾地区にある雨量計では、累計約360mmの豪雨を記録し、大きな被害が心配されましたが、巡視の結果、事業用地内に異常はありませんでした。

今後も引き続き、雨の多い時期となりますので、関係機関との連絡を密にし、迅速に対応出来るように備えてまいります。

【工務課 関根隆好】



増水した前深瀬川
(9日16時頃の西の沢橋)

第14回 河川環境フェスティバル開催

7月30日(水)、伊賀市青山支所管内の住民自治協議会、伊賀川漁業協同組合、青山建設業協会協同組合、三重県、伊賀市、当建設所で構成された実行委員会が主催する「第14回河川環境フェスティバル」が、伊賀市青山支所から程近くの木津川にかかる阿保橋上流の河川敷で開催されました。

このイベントは、河川環境保全についての意識を高めることを目的として毎年行われているもので、鮎の放流や、青山公民館における環境パネルの展示などが行われています。



会場の様子



鮎を放流中!

この環境パネル展では、川上ダムを紹介や環境保全の取り組みに関するパネルを展示しました。

鮎の放流に参加したさくら保育園の園児からは、「お魚さんがいる川がきれいになってくれるといいね」といった声も聞かれ、イベントの趣旨がきちんと子供たちにも伝わっているようで、うれしく思いました。

当建設所では、今後も地域のイベントなどに参加し、河川環境保全の啓発活動に積極的に取り組んでいきます。

【環境課 廣瀬真由】

訂正

8月号の記事に誤りがありましたので訂正いたします。

ダム用語集のタイトルが「ダム用語集 #2 アーチ式コンクリートダム」となりましたが、正しくは「ダム用語集 #3 アーチ式コンクリートダム」でした。次号以降「#4」から続きます。

本紙に対するご意見と掲載記事を募集します♪

当建設所では、読者の皆様により一層親しみながら川上ダム通信をお読みいただけるよう、本紙に対するご意見や掲載記事を募集しています。詳細については、下記までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

【問い合わせ先】 総務課 梅村 TEL: 0595-52-1661 Mail: somu1@lily.ocn.ne.jp

※掲載記事については、広告などの営利目的のものはお受けいたしかねますのでご了承ください。

イベントのお知らせ

竹灯り幽玄祭り

開催日時: 9月20日(土) 16:00~20:30

開催場所: 伊賀市比土 城之越遺跡

お問い合わせ: 公益財団法人伊賀市文化都市協会

TEL: 0595-22-0511

芭蕉翁生誕370年記念事業

まだまだイベント盛りだくさん!

詳しくは公式HPをご覧ください。

公式HP: <http://www.basyo370.com/>

お問い合わせ: 芭蕉翁生誕370年記念事業実行委員会事務局

TEL: 0595-22-9621

編集後記

8月9日から10日にかけて西日本に上陸した台風11号は、三重県全域に大雨特別警報が発表される事態をもたらし、伊賀地域も大雨となりました。防災用品や食料を慌てて買い求めた方も多かったのではないのでしょうか。

9月1日は「防災の日」です。

備えあれば憂いなし!今一度、ご家庭の防災用品や、避難所の場所をチェックしてみたいかがでしょうか。

【広報誌発行事務局】

編集長 神矢(所長)

デスク 梅村(総務課長)

記者 渡辺(総務課)

桐山(第二用地課)

金井(環境課)

日隈(工務課)

田中(工務課長)

高橋(第一用地課)

大谷(調査設計課)

飯島(工事課)